

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学 校 名 社 会 福 祉 法 人 聖 愛 学 舎 も み の 木 保 育 園 長 峰  
(※正式名称を記載)

種 別 ☒ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒 2 0 6 - 0 8 2 1  
東京都稲城市長峰 2 丁目 1 0

E-mail nagamine@mominoki.ed.jp

Website http://www.mominoki.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 6 9 名 女子 6 1 名 合計 1 3 0 名  
幼児・児童・生徒の年齢 0 歳 ~ 6 歳

## 2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月 ~ 平成 3 0 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 3 0 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本園では主にユネスコスクールの活動を、全人教育における労作活動の中に位置づけている。具体的には「花や野菜の栽培」「アヒルと熱帯魚の飼育」「地域清掃活動」「コンポスト」が挙げられる。また労作ではないが「スウェーデンの保育園とのスカイプによる通話」も行った。

### 花や野菜の栽培

今年度は春と秋に花と野菜を植え、クラスごとに栽培した。子ども達と一緒に種や苗を植え、水を与え、上手く行ったときは達成感と共に綺麗な花を観察することが出来た。逆に枯らしてしまった時は、水やり等の手入れの大切さを学ぶ事が出来た。また地域教育懇談会の行う「咲かせよう人権の花」活動にも参加し、植物の栽培を体験する事で生命の尊さを考える良い機会となった。野菜は収穫し、調理する事で命を頂くありがたさ、生きていることの喜びを実感する事が出来た。

### アヒルと熱帯魚の飼育

本園ではアヒルと熱帯魚を飼育している。特にアヒルは子ども達の興味を強く引いており、登降園の際や園庭で遊ぶ際に観察している子も多い。メスもいるの

で春には毎日のように卵を観る事が出来る。実際に触ってみたり、割って中身を見てみたりする事で生命の神秘に触れる事が出来た。

#### 地域清掃活動

散歩の際にゴミ拾いを行っている。ゴミ拾いを通して自分の住んでいる地域の環境に目を向け、環境保護への関心を持ってもらう事に繋がっている。

#### コンポスト

給食の際に残った果物の皮をコンポストに入れて処理している。ゴミに見えるものでも有効活動できるという事を分かりやすくイメージしてもらえる活動で、環境に関しても考えるきっかけとなっている。

#### スウェーデンの保育園とのスカイプによる通話

毎年職員がスウェーデンの保育園で保育士業務を体験する研修を行っている。今年度はスカイプによるビデオ通話で本園の4歳児とスウェーデンの園児との交流を図った。言葉は通じないが共に「きらきら星」を歌ったり、身振り手振りで意思疎通をはかったりした。国際交流により自分達の生きている地域だけでなく世界中に人間がおり、あらゆる人種が生活している事を学ぶ事が出来た。



夏野菜の栽培、収穫。



食育 給食で使用するそら豆のさやから豆をとるお手伝い。



アヒルの飼育、ふれあいを通して、命の尊さを学ぶ。



人権の花「花いっぱい運動」2才～5才児が花の種を蒔き栽培。小さな種を大事に扱う子どもたち。

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 自由活動 主活動 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本園では主にユネスコスクールの活動を、全人教育における労作活動の中に位置づけている。花や野菜の栽培、アヒルや熱帯魚の飼育を通じてあらゆる命に対しての敬意、その命を頂く感謝、そして生きていることの喜び等を知る機会となっている。また散歩の際のゴミ拾いでは道徳心を育てるとともに、自分の住んでいる地域の環境に目を向けることが出来ている。毎週月曜日に行っている礼拝では、聖書の話を通じて人権、人種、貧困、について話している。それについて子ども達一人一人が考えるきっかけとなっている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

毎年度「労作・ESD 係り」を設け、一年間の活動計画を立てている。その年間活動計画を元に担当係りから職員に伝達し、担当係りを中心に手分けして活動を行っている。また年度末に担当係りと園長、主任で集まりその年の反省とそれに対する改善案を話し合う。話し合った内容は引き継ぎ資料としてまとめ、来年度の労作係りに伝える事で、前年度より良い活動が出来るサイクルを作っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

保護者が参加する園内行事の際は、廊下に貧困に関するパネルを掲示しており、少しでも貧困に対して興味、関心持ってもらえるようにしている。またクリスマスの祝会では保護者、職員から献金を募り、世界に溢れている貧困、人種差別に対して目を向けてもらえるきっかけとしている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）  
※チェック事項 2-3 に対応

市内の地域教育懇談会に参加している。花いっぱい運動を行い、地域の美化に貢献する事が出来ている。また「咲かせよう 人権の花」活動では子ども達と共に花を育て、人権を意識する機会となっている。地域清掃活動としては散歩の際はゴミ拾いを積極的に行い、地域の清掃に協力している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

地域清掃活動として、散歩の際にゴミ拾いを始めてから、子ども達の美化意識に変化があった。ゴミ箱に入っていないゴミを見つけると、何も言わずに自然に捨てている。また外にゴミが落ちているを見つけると「誰が捨てたんだろうね」「捨てちゃだめだよ」「拾おうか」と自発的に拾い集める事もある。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）